



File No.19 宝持院山門

旅人を見守る山門

花泉町金沢にある「宝持院」は、明応4（1393）年開山の古刹です。

山門は、江戸中期の宝永8（1711）年に完成し、間口6・19呎、奥行4・46呎、高さ11・2呎と高層華麗。楼門様式の山門としては県内で最も古い例とされ、県内の寺社建築様式上の基準となる高い資料的価値が評価され、昭和49年に県の文化財に指定されています。

山門は、一関と石巻を結ぶ国道342号に近く、古くから石巻街道と気仙沼街道の分岐点、金沢宿のシンボルタワーとして、往來の旅人を見守っています。

【アクセス】JR花泉駅から車で5分